

京都市立紫野高等学校グランドデザイン

紫野高スクール・ミッション

- ・他者と多様な価値を認め合う学校
- ・京都から世界とつながる学校
- ・生徒自らルールを作り自由を担う学校

ユネスコスクール「学びの4本柱」

- ・知ることを学ぶ
- ・為すことを学ぶ
- ・人間として生きることを学ぶ
- ・共に生きることを学ぶ



グラデュエーション・ポリシー

一人ひとりが自由の担い手として考え、行動できる
自ら進んで学び、地球的視野から知を創造できる
社会の多様性を理解し、他者と協働できる

カリキュラム・ポリシー

一人一人が自由の担い手として
考え、行動するための取組

社会の多様性を理解し、 他者と協働するための取組

おしゃかる力

多様な他者と関わる経験、
文化祭や体育祭等での

協働から得られる充実感や連帯感、
海外等との交流を通して常識を
揺さぶられる体験などを重ね、
柔軟に認め合い、合意形成する
力を身に付ける。

あゆみよる力

自由な校風のもと、
自分らしく生き生きと
学べる場としての学校で、教科の学習を
基礎に、一人一人が自分ならではの関心に
沿って発展的な学びに取り組み、
主体的に判断し行動する力を
身に付ける。

かんがえぬく力

アカデミア科

自由闊達な議論

大学での学びにつながる教養
国際コミュニケーション力

つなげる力

総合的な探究の時間を軸として、
習得した知識や技能を結び合わせて
視野を広げ、その視野に立ってさらに
学びを深めるサイクルを繰り返し、
新たな知見や課題解決策を生み出す力を
身に付ける。

つみあげる力

自ら進んで学び、地球的視野から 知を創造するための取組

つかいこなす力

アドミッション・ポリシー

自由の意味について考え、自ら判断し行動しようとする生徒
地球や社会について好奇心を持ち、進んで学ぼうとする生徒
多様性への関心が高く、他者と対話し協働しようとする生徒